

平成28年度（2016年度）
第67回 放送教育研究会全国大会・第20回 視聴覚教育総合全国大会 合同大会

研究交流「一般、OB・OG部会」

平成28年11月19日（土） 9:30～11:30
オリンピック記念青少年総合センター（センター棟101号）

心をつなぐコミュニケーション～「話す力」「きく力」～

元NHKアナウンサー（NHK放送研修センター日本語センター専門委員）

かざ み まさ あき
風 見 雅 章

・コミュニケーションとは「話し手」と「聞き手」との生の対面での情報伝達です。お互いの持つ考え方や感じ方を伝え合うことによって、理解と共感を得る行為です。従って、コミュニケーション能力を高めるにはこちらの考えを話す、相手の考えを知る、「話す力」「きく力」という二つの力を磨くことが大切です。

・話す時は、話し手は声（音）で伝え、聞き手は耳で理解します。ですから、話し手は聞き手が耳で聞いて一度でわかる伝え方を身につけなければなりません。大切なことは話す内容を整理し、組み立てて話すことです。まず、「言いたいことは何なのか」が明快に聞き手に伝わるといことです。そして、伝える順番を考えます。

・コミュニケーションはお互いを理解するところから始まります。そのために欠かせないもう一つの要素は「きく力」です。

・「きく」には二つの要素があります。一つは事実を正確に聴き取る力（傾聴力）です。常に、今聴いている話の中心（テーマ）は何なのかを捉え、話を要約しながら聴き取る力です。もう一つが訊く力（質問力）です。それは、疑問点やもっと知りたいことを質問するとともに、単に、発せられたことばの意味だけでなく話し手の意図も含めて聴きながら相手の心の中にある思いを引き出す質問です。

「きく」ことは、情報・知識・考えを正確に理解するとともに、思考力、想像力を深める行為です。話しが深まるかどうかは「きき手」がそのカギを握っています。

・この「話す」「きく」という、二つのコミュニケーションに欠かせない力を身につけるためにはどんな点に留意すればよいか、そのノウハウについてお話しします。



これまでの研修・講義・講演内容

- 企業・自治体研修
 - ・「ビジネストーク講座」「プレゼンテーション講座」「インストラクター養成講座」「実践スピーチ講座」「コミュニケーション力を磨く～話す・書く」「司会入門」など
- 教育関係
 - ・「先生のためのことばセミナー」など
- アナウンス指導
 - ・「アナウンス専門研修」「面談トレーニング」など

経 歴

- 1971（昭和46年） NHKにアナウンサーとして入局。
山口局、富山局、東京アナウンス室で勤務。
- 1994（平成 6年） 高知放送局放送部長
- 1997（平成 9年） 編成局編成担当部長
- 2000（平成12年） ラジオセンター エグゼクティブ・プロデューサー
- 2002（平成14年） アナウンス室統括担当部長
- 2004（平成16年） NHK放送研修センター日本語センター
エグゼクティブ・アナウンサー
- 2013（平成25年） NHK日本語センター 専門委員

主な担当番組

「くらしの経済」「E TV特集」「おはよう日本」など主に教養・報道番組を担当。
また、「ことばカアップ」「まる得マガジン」など、ことばをテーマにしたテキストの執筆、番組制作。「宝くじ抽選会」司会。

アクセス

